

1	事業名称	信州高速ボランティア養成研修				
2	新規・継続	継続	12年目			
3	趣旨	青少年自然の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における子どもたちの体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術について研修する。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	5月24日(土)	～	5月25日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高速青少年自然の家				
6	募集人数	30人				
7	共催・協力・後援	後援：長野県教育委員会 山梨県教育委員会 愛知県教育委員会				
8	参加者人数	33人				
9	参加者類型	大学生31人 社会人2人				
10	参加者地域	長野県21人, 新潟県11人, 東京都1人				
11	参加者分析	<ul style="list-style-type: none"> 参加者33名の内訳として、大学生の教育参加がほとんどで、3分の1は一般からの参加であった。広報活動の方法がよかったように思える。しかし、高校生1名が参加の予定であったが、インターハイ予選のため欠席となった。高校生の参加を増やすための広報活動は考える必要があると感じた。 現職の教員の方も2名参加していただき、学生たちは、学ぶところが多かったように思える。 				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		85%	15%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> この事業に参加する前と後では、イメージが180度変わった。 講義ばかりかと思っていたので、活動的な体験が多くて楽しかった。 ボランティアの意義は様々で、ボランティアの立場や心構えなどを学ぶことができた。実際の活動でもぜひ、今回の学習をいかしていきたい。 ボランティア養成研修は、とてもよいプログラムなので、是非とも今後も続けてほしい。 				
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> 青少年教育の理解では、学校教育と社会教育の違いについて理解を深めることができた。また、ラーニングピラミッドの話が印象的だったという意見が多くあった。 ボランティア活動の意義では、現役の教師を含む先輩ボランティアから直接話を聞くことで、ボランティア活動のイメージを膨らませることができた。 「一般救急講習会」では、過去に受けた講習の再確認と、最新の救急救命について学びなおすよい機会となった。 要所でのアイスブレイクが、グループの仲を深めたり、気持ちを切り替えられたりといよい活動となった。 				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 「一般救命講習」では、施設の事業が子ども対象のものが多く、子どもを対象とした講習内容に取組めていけたらと考える。 「テント泊」では、時期的に朝方の冷え込みがあり、温度調節が難しかったようで、来年度は、寒さ対策を考えていく。 				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の反省より、コミュニケーションづくりの時間を多く確保した。アイスブレイクを講義や実習の合間に取り入れることで、参加者間の関係づくりや気分転換にもなり、有意義なものとなった。 閉講式の後に参加者が研修会の余韻に浸れる時間を設けたく、振り返りとして、期間中の写真をムービーメーカーにて、映像化した。 				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当（講師等）
5月24日（土）		
10:45～11:00	開講式	
11:00～12:30	講義Ⅰ「青少年教育の理解」	国立信州高遠青少年自然の家 所長 下村善量
13:30～14:30	実習Ⅰ「青少年施設における活動の実際と体験」（レクリエーションの指導）	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
14:30～15:30	実習Ⅱ「青少年施設における活動の実際と体験」（テント設営）	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
15:30～19:00	実習Ⅲ「青少年施設における活動の実際と体験」（野外炊飯）	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
19:00～19:30	講義Ⅱ「青少年教育施設の現状と運営」	国立信州高遠青少年自然の家 職員
19:30～21:00	講義Ⅰ「ボランティア活動の意義」	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
5月25日（日）		
6:00～8:50	実習Ⅲ「青少年教育施設におけるボランティア活動の理解」	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
9:00～12:00	実習Ⅳ「一般救急講習会」	日本赤十字社長野支部救急救命派遣講師
13:00～14:30	講義Ⅳ「青少年教育の現状と運営」	国立信州高遠青少年自然の家 次長 渡邊 孝
14:30～15:00	実習Ⅴ「ふりかえり」	国立信州高遠青少年自然の家 職員
15:00～15:20	閉講式	



講義「青少年教育の理解」



実習「野外炊飯」



講義「ボランティア活動の意義」



実習「テント設営」



実習「救急法講習会」



全体写真